

## 教科等の目標と道徳教育(教科の特質に応じた適切な指導)

	小学校	中学校
国語	国語による表現力と理解力を育成するとともに、人間と人間との関係の中で、互いの立場や考え方を尊重しながら言葉で伝え合う力を高めることは、学校の教育活動全体で道徳教育を進めていく上で、基盤となるものである。また、思考力や想像力及び言語感覚を養うことは、道徳的心情や道徳的判断力を養う基本になる。さらに、国語を尊重する態度を育てることは、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛することなどにつながるものである。	国語による表現力と理解力を育成するとともに、人間と人間との関係の中で、互いの立場や考え方を尊重しながら言葉で伝え合う力を高めることは、学校の教育活動全体で道徳教育を進めていく上で、基盤となるものである。また、思考力や想像力を養う言語感覚を豊かにすることは、道徳的心情や道徳的判断力を養う基本になる。更に、国語を尊重する態度を育てることは、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛することなどにつながるものである。
社会	地域の社会生活及び地域の発展に尽くした先人の働きなどについての理解を図り、地域社会に対する誇りと愛情を育てることや、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てることは、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛することなどにつながるものである。また、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者としての自覚をもち、自他の人格を尊重し、社会的義務や責任を重んじ、公正に判断しようとする態度や能力などの公民的資質の基礎を養うことは、主として集団や社会とのかかわりに関する内容などと密接なかかわりをもつものである。	我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深めることは、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛することなどにつながるものである。また、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者としての自覚をもち、自由・権利と責任・義務との関係を正しく認識し、権利・義務の主体者として公正に判断しようとする態度や能力などの公民的資質の基礎を養うことは、主として集団や社会とのかかわりに関する内容などと密接なかかわりをもつものである。
算数・数学	児童が日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てることは、道徳的判断力の育成にも資するものである。また、数理的にものごとを考えたり処理したりすることを生活や学習に活用しようとする態度を育てることは、工夫して生活や学習をしようとする態度を育てることにも資するものである。	生徒が事象を数理的に考察し筋道を立てて考え、表現する能力を高めることは、道徳的判断力の育成にも資するものである。また、数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てることは、工夫して生活や学習をしようとする態度を育てることにも資するものである。
理科	栽培や飼育などの体験活動を通して自然を愛する心情を育てることは、生命を尊重し、自然環境を大切にする態度の育成につながるものである。また、見通しをもって観察、実験を行うことや、問題解決の能力を育て、科学的な見方や考え方を養うことは、道徳的判断力や真理を大切にしようとする態度の育成にも資するものである。	自然の事物・現象を調べる活動を通して、生物相互の関係や自然界のつり合いについて考えさせ、自然と人間とのかかわりを認識させることは、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度の育成につながるものである。また、目的意識をもって観察、実験を行うことや、科学的に探究する能力を育て、科学的な見方や考え方を養うことは、道徳的判断力や真理を大切にしようとする態度の育成にも資するものである。
生活	自分と身近な人々、社会及び自然と直接かかわる活動や体験を通して、自然に親しみ、生命を大切にするなど自然とのかかわりに関心をもつこと、自分のよさや可能性に気付くなど自分自身について考えさせること、生活上のきまり、言葉遣い、振る舞いなど生活上必要な習慣を身に付け、自立への基礎を養うことなど、いずれも道徳教育と密接なかかわりをもつものである。	
音楽	音楽を愛好する心情や音楽に対する感性は、美しいものや崇高なものを尊重することにつながるものである。また、音楽による豊かな情操は、道徳性の基盤を養うものである。なお、音楽の共通教材は、我が国の伝統や文化、自然や四季の美しさや、夢や希望をもって生きることの大切さなどを含んでおり、道徳的心情の育成に資するものである。	音楽を愛好する心情や音楽に対する感性は、美しいものや崇高なものを尊重することにつながるものである。また、音楽による豊かな情操は、道徳性の基盤を養うものである。なお、音楽の共通教材は、我が国の自然や四季の美しさを感じ取れるもの、我が国の文化や日本語のもつ美しさを味わえるものなどを含んでおり、道徳的心情の育成に資するものである。
図画工作、美術	つくりだす喜びを味わうようにすることは、美しいものや崇高なものを尊重する心につながるものである。また、造形的な創造による豊かな情操は、道徳性の基盤を養うものである。	創造する喜びを味わうようにすることは、美しいものや崇高なものを尊重する心につながるものである。また、美術の創造による豊かな情操は、道徳性の基盤を養うものである。
体育、保健体育	集団でのゲームなど運動することを通して、粘り強くやり遂げる、きまりを守る、集団に参加し協力する、といった態度が養われる。また、健康・安全についての理解は、生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直すことにつながるものである。	集団でのゲームなど運動することを通して、粘り強くやり遂げる、ルールを守る、集団に参加し協力する、といった態度が養われる。また、健康・安全についての理解は、生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直すことにつながるものである。
家庭、技術・家庭	日常生活に必要な基礎的な知識や技能を身に付け、生活をよりよくしようとする態度を育てることは、生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直すことにつながるものである。また、家庭生活を大切にする心情をはぐくむことは、家族を敬愛し、楽しい家庭をつくり、家族の役に立つことをしようすることにつながるものである。	生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得することは、望ましい生活習慣を身に付けるとともに、勤労の尊さや意義を理解することにつながるものである。また、進んで生活を工夫し創造しようとする態度を育てることは、家族への敬愛の念を深めるとともに、家庭や地域社会の一員としての自覚をもって自分の生き方を考え、生活をよりよくしようすることにつながるものである。
外国語活動、外国語	外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深めることは、日本人としての自覚をもって世界の人々と親善に努めるにつながるものである。	外国語を通じて、我が国や外国の言語や文化に対する理解を深めることは、世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献することにつながるものである。

総合的な学習の時間	<p>総合的な学習の時間の内容は、各学校で定めるものであるが、国際理解、情報、環境、福祉・健康などの現代社会の課題や、児童の興味・関心に基づく課題、地域や学校の特色に応じた課題などが考えられる。児童が横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、このような現代社会の課題などに取り組み、これらの学習が自己的生き方を考えることにつながっていくことになる。また、総合的な学習の時間においては、横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、主体的に判断して学習活動を進めたり、粘り強く考え方を解決しようとしたりする資質や能力、自己の目標を実現しようとしたり、他者と協調して生活しようとしたりする態度を育てるこも重要であり、このような資質や能力及び態度の育成は道徳教育につながるものである。</p>	<p>総合的な学習の時間の内容は、各学校で定めるものであるが、国際理解、情報、環境、福祉・健康などの現代社会の課題や、生徒の興味・関心に基づく課題、地域や学校の特色に応じた課題、職業や自己の将来にかかる課題などが考えられる。生徒が、横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、このような現代社会の課題などに取り組み、これらの学習が自己的生き方を考えることにつながっていくことになる。また、総合的な学習の時間においては、横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、主体的に判断して学習活動を進めたり、粘り強く考え方を解決しようとしたりする資質や能力、自己の目標を実現しようとしたり、他者と協調して生活しようとしたりする態度を育てるこも重要であり、このような資質や能力及び態度の育成は道徳教育につながるものである。</p>
特別活動	<p>目標には、心身の調和のとれた発達と個性の伸長、自主的、実践的な態度、自己の生き方についての考え方、自己を生かす能力など道徳教育がねらいとする内容と共通している面が多く含まれており、道徳教育との結び付きは極めて深い。とりわけ、特別活動における学級や学校生活における望ましい集団活動や体験的な活動は、日常生活における道徳的実践の指導をする重要な機会と場であり、道徳教育に果たす役割は大きい。具体的には、例えば、自分勝手な行動をとらずに節度ある生活をしようとする態度、自己の役割や責任を果たして生活しようとする態度、よりよい人間関係を築こうとする態度、みんなのために進んで働くとする態度、自分たちで約束をつくって守ろうとする態度、目標をもって諸問題を解決しようとする態度、自己のよさや可能性に自信をもち集団活動を行おうとする態度などは、集団活動を通して身に付けたい道徳性である。また、児童の悩み、学級や学校生活における葛藤などの道徳性に関する問題は、学級活動における指導と深いかかわりがある。</p>	<p>目標には、心身の調和のとれた発達と個性の伸長、自主的、実践的な態度、人間としての生き方についての自覚、自己を生かす能力など道徳教育がねらいとする内容と共通している面が多く含まれており、道徳教育との結び付きは極めて深い。とりわけ、特別活動における学級や学校生活における望ましい集団活動や体験的な活動は、日常生活における道徳的実践の指導をする重要な機会と場であり、道徳教育に果たす役割が大きい。具体的には、例えば、自分勝手な行動をとらずに節度ある生活をしようとする態度、自己の役割や責任を果たして生活しようとする態度、よりよい人間関係を築こうとする態度、集団や社会の一員としてみんなのために進んで働くとする態度、自分たちで約束をつくって守ろうとする態度、目標をもって諸問題を解決しようとする態度、自己のよさや可能性に自信をもち集団活動を行おうとする態度などは、集団活動を通して身に付けたい道徳性である。また、生徒の悩み、学級や学校生活における葛藤などの道徳性に関する問題は、学級活動における指導と深いかかわりがある。</p>
	<p>特に、学級活動の内容に示した〔第1学年及び第2学年〕の「仲良く助け合い学級生活を楽しくする」や〔第3学年及び第4学年〕の「協力し合って楽しい学級生活をつくる」、〔第5学年及び第6学年〕の「信頼し支え合って楽しく豊かな学級や学校の生活をつくる」は、第3章道徳の第2に示す「2 主として他の人とのかかわりに関すること」や、「4 主として集団や社会とのかかわりに関すること」のうち、かかわりの深い内容項目を踏まえたものである。また、学級活動の指導計画の作成に当たっては、「第3章道徳の第3の1の(3)に示す道徳教育の重点などを踏まえること」と示している。このように学級活動においては、〔共通事項〕の(1)の「学級や学校の生活づくり」の内容として、学級や学校における生活上の諸問題の解決、学級内の組織づくりや仕事の分担処理、学校における多様な集団の生活の向上を示している。この活動は、生徒がよりよい生活を築くために、諸課題を見いだし、これを自主的に取り上げ、協力して解決していく自発的、自動的な活動である。このような児童による自発的、自動的な活動は、望ましい人間関係の形成やよりよい生活づくりに参画する態度などにかかわる道徳性を身に付けることができる。また、学級活動の〔共通事項〕の(2)の「日常の生活や学習への適応及び健康安全」の内容としては、希望や目標をもって生きる態度の形成、基本的な生活習慣の形成や望ましい人間関係の形成、清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解、学校図書館の利用、心身とともに健康で安全な生活態度の形成、食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成を示している。これらのことについて、自らの生活を振り返り、自己の目標を定め、努力して健全な生活態度を身に付けようすることは、道徳性の育成に密接なかかわりをもっている。</p>	<p>また、学級活動においては、活動内容(1)の「学級や学校の生活づくり」の内容として、学級や学校における生活上の諸問題の解決、学級内の組織づくりや仕事の分担処理、学校における多様な集団の生活の向上を示している。この活動は、生徒がよりよい生活を築くために、諸課題を見いだし、これを自主的に取り上げ、協力して解決していく自発的、自動的な活動である。このような生徒による自発的、自動的な活動を通じて、望ましい人間関係の形成やよりよい生活づくりに参画する態度などにかかわる道徳性を身に付けることができる。また、学級活動の活動内容の(2)「適応と成長及び健康安全」の内容としては、思春期の不安や悩みとその解決、自己及び他者の個性の理解と尊重、社会の一員としての自覚と責任、男女相互の理解と協力、望ましい人間関係の確立、ボランティア活動の意義の理解と参加、心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成、性的な発達への適応、食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成を示している。これらの活動を通じて、生徒一人一人が人間としての生き方について幅広く探し、心身の健康の保持増進に努め、豊かな人間性や個性の育成を図ることは、道徳性の育成に資するものである。更に、活動内容の(3)「学業と進路」の内容としては、学ぶことと働くことの意義の理解、自主的な学習態度の形成と学校図書館の利用、進路適性の吟味と進路情報の活用、望ましい勤労観・職業観の形成、主体的な進路の選択と将来設計を示している。これらのこととは、生徒一人一人が現在及び将来の生き方を考える基盤になるものであり、自己の生き方を見つめ、自己の目標を定めて努力していくことは、道徳性の育成に密接なかかわりをもっている。</p>
	<p>児童会活動においては、児童会の計画や運営、異年齢集団による交流、学校行事への協力などを通して、学校生活の充実と向上を図る活動が行われる。異年齢の児童が学校におけるよりよい生活を築くために、諸問題を見いだし、これを自主的に取り上げ、協力して解決していく自発的、自動的な児童会活動は、異年齢による望ましい人間関係の形成やよりよい学校生活づくりに参画する態度などにかかわる道徳性を身に付けることができる。クラブ活動においては、クラブの計画や運営、クラブを楽しむ活動、クラブの成果を発表する活動など、異なる学年や学級の児童により、共通の興味・関心を追求する活動が行われる。異年齢の交流を深め、協力して共通の興味・関心を追求する自発的、自動的なクラブ活動は、異年齢による望ましい人間関係の形成や個性の伸長、よりよいクラブ活動づくりに参画する態度などにかかわる道徳性を身に付けることができる。</p>	<p>生徒会活動においては、生徒会の計画や運営、異年齢集団による交流、生徒の諸活動についての連絡調整、学校行事への協力、ボランティア活動などの社会参加を通して、学校生活の充実と向上を図る活動が行われる。生徒が集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、生活上の諸問題を見いだし、これを自主的に取り上げ、協力して解決していく自発的、自動的な生徒会活動は、道徳的実践力を豊かにする上で有効適切であり、それによって生徒会活動が円滑に運営されることも期待できる。</p>
	<p>学校行事においては、学校生活に秩序と変化を与える、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる指導がなされる。特に、ボランティア精神を養う活動や自然の中での集団宿泊体験、幼児、高齢者や障害のある人々などとの触れ合いや文化や芸術に親しむ体験を通して、望ましい人間関係、自律的態度、心身の健康、協力、責任、公徳心、勤労、社会奉仕などにかかわる道徳性の育成を図ることができる。</p>	<p>学校行事においては、学校生活に秩序と変化を与える、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる指導がなされる。特に、職場体験やボランティア活動などの社会体験や自然体験、文化や芸術に親しむ体験、幼児、高齢者、障害のある人々と触れ合う活動を通じて、思いやりの心、勤労や奉仕の精神、公共の福祉、心身の健康、協力、責任、公徳心などにかかわる道徳性の育成を図ることができる。</p>